

アンケート結果からの考察(町HP掲載用)

(4) 中学校教職員集計分

設問	集計結果	読み取れること	全体を通して
問2 あなたが現在顧問として関わっている部活動はあなた自身の専門種目ですか。	1. と回答した人は10.5% 3. と回答した人は36.8%	専門種目の部活動を指導している先生は大変少ない。まして部活動に関わっていない先生も1/3いる。	中学校教職員にとって部活動は、専門的技術指導ができる教員不足や教員の負担増大など、学校としての部活動自体のあり方が課題となっている。また教職員全員が「仕事が多用で思うように指導できない」「自分の研究や趣味の時間等の妨げになる」など部活動の指導に何かしらの悩みを持っている。このことより教職員の負担減や教員不足の為にも、休日部活動の地域移行は前向きに取り組み必要性はあるように思われる。
問3 あなたが学校外での試合や遠征の日数は年間で費やしている日数。(昨年度のおよその時間)	1. ～5. と回答した人は57.9% 1. と回答した人は10.5% 2. と回答した人は21.0% 3. と回答した人は15.8% 5. と回答した人は10.5%	半数以上の学校外での試合や遠征に参加しているが、対応状況は教職員それぞれでまちまちである。	
問4 中学校部活動の「意義」は何だと感じていますか。	(7)(10)(12)以外は「そう思う」「ややそう思う」と回答した人は70%以上 (7)(12)で「そう思う」「ややそう思う」と回答した人は50%未満	部活動の「意義」については、それぞれの選択肢の内容について高い役割を果たしている。しかし(7)(12)などについては、そこまで意義がないのではと思っている先生も半数いる。	
問5 部活動の「問題点」についてお聞きします。	(2)(3)(4)について「そう思う」「ややそう思う」と回答した人は100% (1)について「そう思う」「ややそう思う」と回答した人は26.3%	専門的技術指導ができる教員不足、教員の負担増大などについては教職員全員が問題点としてあげ、学校としての部活動自体のあり方自体が課題となっている。反面生徒の入部率の低下については問題点として挙がっていないことも注目するところである。	
問6 学校部活動における地域指導者の活用は必要ですか。	1. と回答した人は84.2%	今や学校部活動に地域指導者は欠かせないと思われている。	
問7 部活動の指導での悩みは何ですか。	13. と回答した人は0% 1. と回答した人は26.3% 2. と回答した人は15.8%	教職員全員が「仕事が多用で思うように指導できない」「自分の研究や趣味の時間等の妨げになる」など部活動の指導に何かしらの悩みを持っている。	
問8 学校部活動の「今後のあり方」に関してお聞きします。	(1)(4)に「そう思う」「ややそう思う」と回答した人は70%以上。 (3)(5)に「そう思う」「ややそう思う」と回答した人は約70%	休日の部活動の地域移行または地域指導者の積極的活用など、部活動は学校だけで対応しなくてもいいという意見が多い。また(3)(5)など現状に適した対応も考慮できる意見もある。	